

アフガニスタンとその国境に関する英国の諜報

1888~1946 年頃

British Intelligence on Afghanistan
and Its Frontiers, c. 1888-1946

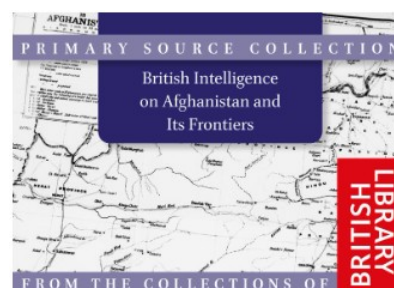
西アジア地政学の源流を解き明かす鍵

英領インドの北西国境の防衛とロシアの実際の、あるいは想定される脅威に対するアフガニスタンの立場は、19世紀初頭から100年以上にわたり、英領インドの政治・軍事戦略における主要なテーマでした。これは、英国の国境がまだアフガニスタンに到達していなかった1838年から1842年の第一次アフガン戦争の介入から始まりました。

戦略的な計画立案や政策の策定には、地形、通信手段、資源、国内政治、部族の構成や対立関係、重要人物などに関する情報、つまり諜報が必要であり、これは政治的関係の背景を提供するだけでなく、軍事作戦のための実践的な知識としても役立ちました。

1922年以前は、1838年から1842年と1878年から1880年にカブールに駐在員を配置するという悲惨な試みを除き、インド政府からアフガニスタン国内への直接の外交的または政治的代表はありませんでした。また、ロンドンの政府はアフガニスタンについて、外交使節団を必要とする地位の国家とは考えていませんでした。

しかし、1882年から1919年の間に、インド出身のムスリム外交官が次々とカブールへ派遣されるようになり、1919~1921年の第三次アフガン戦争の後には、ようやく正式な外交関係が確立されました。1949年までカブールに駐在していた英国公使は、インド政治局 (Indian Political Service) のメンバーでしたが、ロンドンの外務省によって任命されていました。



大学・学術機関向け

買い切り (Outright Purchase) ・同時アクセス無制限

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの年間管理費 (Annual Hosting Fee) は不要です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社まで別途ご用命ください。

トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本総代理店 極東書店

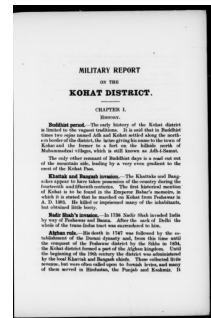
FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp

初期の情報収集は断片的で危険なものであり、しばしば変装した個々の旅行者の能力と、現地の情報提供者の臨時雇用に依存していました。インド政府が諜報をより真剣に考え始めたのは、1878 年から 1880 年の第二次アフガン戦争の勃発後のことでした。

軍事諜報

1878 年、インド陸軍司令部の兵站部内に情報部が設立され、3 人の将校と 2 人の補佐官で構成されていました。1892 年の再編成により人員は 5 人の将校と 4 人の補佐官に増加し、1903 年には責任者の階級は准将に昇格し、動員に関する追加責任も与えられました。1912 年から 1913 年のインド軍委員会による広範な改革により、参謀本部の軍事作戦局内に情報セクション(M.O.3)が設置されました。

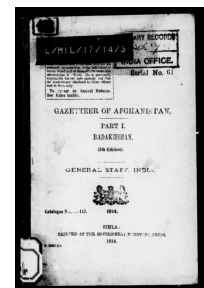
このセクションは、軍事作戦局長（准将）に報告する第 1 級参謀将校が指揮し、5 つの小部門に分かれていました。その内 4 つは地理的区分（アフガニスタン、ロシア領トルキスタン、北西の国境は「N」部門）で、5 つ目は「機密性の高い特殊任務」に専念していました。総人員は将校 15 名と事務員 10 名でした。この体制は、定期的な人員増加を伴いながら、1947 年の英国統治終了まで続けました。



地誌およびハンドブック

初期の情報収集は、歴史的な地誌（Gazetteers）や背景資料に重点を置く形でゆっくりと始まりましたが、やがて実務的なハンドブック、ルートマップ、軍事報告、部族に関する報告書、要人名鑑（“Who’s Who”）、時事要約などを次々と発行するようになりました。これらの情報は、主に北西国境に駐在する士官や彼らの関係者、さらには秘密裏に雇われた現地の部族民から得られたものであった。

すべての資料は「Secret」「Confidential」「For Official Use Only」に分類され、厳格な保管規則が適用されました。さらに、新版が発行されるたびに旧版を破棄することが義務づけられていたため、これらの資料は現在、ごく限られた場所にしか残っていません。



政治情報

インド政府の外務・政治部（Foreign & Political Department）も、独自に情報活動を行っており、アフガニスタンの国内外の動向や国境を越えた部族、要人に関する情報を収集していました。彼らは主に、北西国境地帯やアフガニスタンで勤務する政治担当官から情報を得ており、しばしば軍の情報部門の活動と重複していました。

印刷された通信記録

特に重要なのが、「外務省印刷通信記録（Foreign Department Printed Correspondence）」という膨大な文書群であり、全 73 巻、総計約 13,600 ページに及びます。この資料は、他の主要な諜報関連文書とは別にロンドンで保管されていたため、あまり知られていない情報源となっています。

この文書群は、標準的な慣行となっていたものを模倣し、1919 年から 1941 年の間のアフガニスタンに関するすべての公文書（受信および発信の通信文書と関連文書）をリプリントしたものです。「第三次アフガン戦争 1919 年通信文書」として始まり、最終的には「アフガン・シリーズ」となりました。ページ番号は頻繁に不規則ですが、各部内では文書は連続した番号順に並んでいます。

■文書のタイプ別に全 9 セクションに整理されたアーカイブ

1. Gazetteers and Handbooks, 1888-1935
2. Internal and External Affairs, 1907-1941
3. Who’s Who, 1914-1940
4. Military Reports, 1906-1940
5. Route Books, 1907-1941
6. Frontiers – General & Northern Section, 1910-1946
7. Frontiers – Central Section, 1908-1941
8. Frontiers – Waziristan, 1907-1940
9. Frontiers – Baluchistan, 1910-1946

本コレクションの文書は、1947 年以前のロンドンのインド省内の軍事部門(L/MIL/17)と政治・機密部門(L/P&S/20)の 2 つの図書館に所蔵されています。これらの資料はインドから出版時に受け取られ、作成者によって定められた厳格な保管規則に従って保管・処分されました。

